



令和3年1月20日(水) 第44号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底について



13日(水)に開催された福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議において、県内の感染状況が「ステージⅢ」相当であるとされたことから、市教育委員会を通じて、国の「衛生管理マニュアル」を参考に、感染リスクの高い活動を控え、感染症対策の徹底を図るよう通知がありました。

本校においては、引き続きマスク着用や換気、手洗い・手指消毒の励行、校舎内の次亜塩素酸ナトリウムによる消毒等の感染症予防対策の徹底を図るとともに、下に示した感染リスクが高いと思われる活動について、内容・方法の見直しや指導時期の入れ替えを行うことにしました。

楽しみにしていた「長なわ跳び」や「ふれあい給食」、「豆まき」等が実施できないのは残念ですが、児童の安全・安心を最優先に教育活動を行いたいと考えます。

尚、保護者の皆様におかれましては、先日配布の「保護者の皆様へ(改めてのお願い)」の文書にありました通り、ご家族の毎日の健康観察や、体調不良時の適切な対応とともに、家庭内における「手洗い」「不要不急の外出を避ける」等の感染予防対策を改めてお願いいたします。また、人権擁護の観点から、新型コロナウイルス感染に対して誹謗中傷や偏見、差別的な発言等を生むことがないように、児童に対してご助言いただけますと幸いです。

感染リスクが高いとされる学習活動

- ・運動会や文化祭、学習発表会等の学校行事
- ・県外への移動や宿泊を伴う学校行事
- ・室内での管楽器演奏や歌唱
- ・体育科における身体接触を伴う内容
- ・長時間にわたるグループ活動

家庭科の調理実習
理科の実験・観察
図画工作科の共同制作



ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業

<いわき教育事務所長表彰> 学校賞受賞!

子どもと大人・子どもと子どもがペアで作る五・七・五

令和2年度の「ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業」において、本校がいわき教育事務所長表彰「学校賞」に選出されました。

出品に際し全ての作品を読ませてもらいましたが、子ども達と両親や祖父母とのふれあいから生まれた十七文字の作品一つ一つから、家族の絆の深さと温かみが伝わってきました。協力くださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

福島県教育委員会が実施している本事業も今年で19回を数えます。子どもたちが豊かな体験活動を通して、人と人との絆を深めるとともに、学校、家庭、地域がひとつとなって子どもたちを育む体制づくりの推進をねらいとしています。

先日の「ふくしまっ子朝ごはんコンテスト」個人最優秀賞、学校賞の受賞につづき、大変嬉しいニュースでした。



弁財天と牛小滝

ムービー近日公開!!

川前町もりあげ隊
NEWS

子ども達が版画で制作した、昔話「弁財天と牛小滝」のデジタル紙芝居が完成間近になりました。

7枚の版画に子ども達の生き生きとした声をのせて、惣五郎が牛小滝で体験した不思議なお話を表現しました。

セリフや効果音も子ども達の手作りです。前作「桶売ものがたり」からさらに内容もパワーアップし、自信作に仕上がりました。

DVDで各家庭に配布するほか、近日、ホームページにて公開予定です。

どうぞご期待ください!!



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.088 μ Sv/h 1/19 8:40

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

